

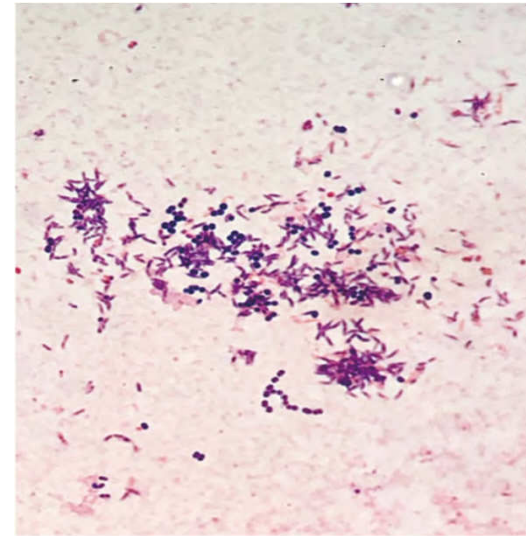
Actinotignum schaalii

- *Actinotignum schaalii* はコリネフォームを呈する通性嫌気性グラム陽性桿菌（泌尿・生殖器周辺の常在菌）であり、尿路感染症の起病因菌及び菌血症として、報告されています。
- 通常の培養時間・環境では発育が悪く、嫌気培養、5%炭酸ガス培養が必要となります。尿に対してこの培養条件は通常のルーチンにはなく、尿培養や腔培養で検出されることは困難です。
- 従来は生化学的な同定が困難で、DNA検索を行う他なかったのですが、MALDI-TOF-MSにより同定が容易となり、報告数が増加しつつあります。
- 尿路感染を疑う症例において、コリネフォームのグラム陽性桿菌がグラム染色で観察された場合には、*Actinotignum schaalii*の可能性も念頭に置く必要があります。

Actinotignum schaalii



尿検体における35℃バイタルメディア
ブルセラHK寒天培地(RS)を用いた嫌
気培養48時間後コロニー像。1mm程度
の灰白色のコロニーが見受けられます。



グラム染色所見(尿検体)(×1000)
コリネフォームを示すグラム陽性桿菌